

平成22年7月10日  
16時45分

四日市市保健所長

感染症の発生について(情報提供)

【概要】

市内医療機関から腸管出血性大腸菌(O157)感染症発生の報告が当保健所がありました。  
内容につきましては、下記のとおりです。  
これは感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条に基づく情報の公表です。

病名	腸管出血性大腸菌(O157)感染症
年齢及び性別	83歳 ・ 男
職業	無職
住所	四日市市
発病年月日	平成22年 7月 7日
診断年月日	平成22年 7月 10日

【患者発生の経過】

7月7日 腹痛、下痢(3回/日)、血便がみられた。  
7月8日 腹痛、下痢(3回/日)、血便持続のため、市内医療機関受診し入院となる。  
7月10日 7月8日の便検査の結果から腸管出血性大腸菌(O157)感染症と診断された。

7月10日現在、患者は下痢(血便)症状あり、引き続き入院治療をしています。

【防疫措置】

家族・接触者の検病調査及び検便の実施

【四日市市内の腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】

平成22年1月1日～平成22年7月10日現在まで本件含む ( )内は三重県内の発生

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
患者	2 (18)	6 (35)	2 (24)	4 (123)
保菌者	3 (11)	4 (18)	2 (15)	2 (96)
計(感染者)	5 (29)	10 (53)	4 (39)	6 (219)

【自分で出来る予防対策】

1 予防の3原則

①加熱(菌を殺す)

この菌は熱に弱く、75℃、1分間の加熱で死滅します。  
肉の生食は避けてください。特に子どもや高齢者は注意してください。  
ひき肉は、十分に加熱をしましょう。  
焼肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。  
井戸水は、煮沸してから飲んでください。

②迅速・冷却(菌を増やさない)

調理した食品はすぐに食べましょう。

③清潔(菌をつけない)

手指や調理器具は十分に洗いましょう

2 暴飲暴食は避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保ってください。

3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けてください。

連絡先

四日市市保健所 保健予防課 (059-352-0595)

担当：内山・吉澤

※ 本日18:45まで待機しています